



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.2

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)エステムコート新横浜3丁目新築工事	階数	地上11F		
建設地	神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目22番13、14、15	構造	RC造		
用途地域	防火地域	平均居住人員	227 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価		
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年2月26日		
敷地面積	1,041 m ²	作成者	株式会社CITY DESIGN 一級建築士事務所 佐藤 真		
建築面積	742 m ²	確認日	2024年2月26日		
延床面積	7,098 m ²	確認者	株式会社CITY DESIGN 一級建築士事務所 佐藤 真		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 横浜市に建設される共同住宅として、建物環境・周辺環境ともに適切な配慮がされた建築物の計画。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 アルミ建具は遮音性T-2以上を確保し、ユニットフロアーはLH-50(重量衝撃音)及びL-45(軽量衝撃音)の性能のものを採用している。	Q2 サービス性能 空調・給排水衛生設備の採種は、主要な用途2種以上にBを使用し、Eは不使用とした計画。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 住棟の設計一次エネルギー消費量は基準一次エネルギー消費量から12%の削減を実現している。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率88%であり、適切な量の駐車・駐輪スペースを確保している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

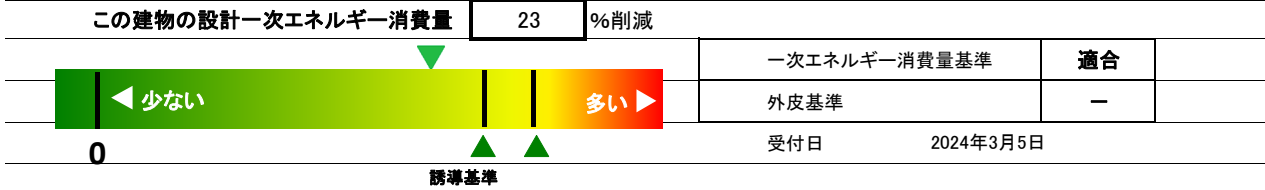


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)エステムコート新横浜3丁目新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)
高効率設備を導入している。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 1

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

VP・PEP管材を使用している。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2022年版v.1.2
(仮称)エステムコート新横浜3丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境										3.3
1 音環境				4.0	0.15	3.5	1.00			3.5
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				5.0	0.50	4.0	0.50			-
1 開口部遮音性能				5.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	4.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	4.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	3.0	0.38			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-			-
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20			-
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境				3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.0	0.30			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	3.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気環境				4.2	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	1.00	5.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	-	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.9
1 機能性				2.7	0.40	3.0	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	3.0	0.50			-
1.3 維持管理				2.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.7	1.00			2.7
3.1 空間のゆとり				-	-	2.4	0.50			-
1 階高のゆとり				-	-	2.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				-	-	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.2
 (仮称)エステムコート新横浜3丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			1.9
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-			2.0
2		まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-			1.0
3		地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-			3.0
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-			-
3.2		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.0
1		建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-			3.0
2		自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-			3.0
3		設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-			5.0
4		効率的運用		3.0	0.20	-	-			3.0
		集合住宅以外の評価		-	-	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-			-
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-			-
		集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			2.6
1		水資源保護		3.0	0.20	-	-			3.0
1.1		節水		3.0	0.40	-	-			-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2		非再生性資源の使用量削減		2.5	0.60	-	-			2.5
2.1		材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-			-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-			-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-			-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-			-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-			-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-			-
3		汚染物質含有材料の使用回避		2.5	0.20	-	-			2.5
3.1		有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-			-
3.2		フロン・ハロンの回避		2.3	0.70	-	-			-
	1	消火剤		2.0	0.33	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.33	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			2.9
1		地球温暖化への配慮		3.4	0.33	-	-			3.4
2		地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-			2.5
2.1		大気汚染防止		3.0	0.25	-	-			-
2.2		温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-			-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
3		周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-			3.0
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	0.33	-	-			-
	2	振動		3.0	0.33	-	-			-
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-			-
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3		光害の抑制		3.0	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-			-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1		化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-			-
2		適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-			-
3		結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-			-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-			-